

2010 (平成 22) 年度 事業 報告

2010 (平成 22) 年 10 月 1 日 ~ 2011 (平成 23) 年 9 月 30 日

< 事業の総括 >

今年度は、当初予定の事業を行っていたところに、3月11日の東日本大震災が起こり、これまで国内では特に事業を行っていなかった当法人としても、東日本大震災被災者支援事業を行うこととし、大人用車いすを被災地に提供し、支援のための募金を行った。

モンゴル障がい者支援事業では夏の交流ツアーおよび JICA「世界の笑顔のために」プログラムを通じ、使用済みの子ども用車いす等計 21 台の支援を行った。このほかに車いすについては、モンゴル、パプアニューギニア、ウガンダに派遣されている協力隊員およびシニアボランティアとの協働で 43 台の支援を行うことができた。

タイについては、北タイの NGO・ルデラ (ラフ農村開発) の設立 20 周年にあわせルデラ交流ツアーを実施した。

事務局の運営、イベント支援、会員交流などにボランティアが活躍した。

1. 海外との協力事業

(1) モンゴル障がい者支援事業

ア. 療育専門家の派遣

今期の 8 月のモンゴルツアーでは、障がい児の専門医、義肢装具士、理学療法士などの専門家に多く参加・協力をいただき、専門家派遣はしなかった。

イ. 使用済み車いすの収集と配布

心身障害児総合医療療育センターにおいて君塚所長の声がけにより、使用済みの子ども用車いす・工房椅子などが、車いす業者さんの協力で集められている。今期は、JICA の「世界の笑顔のために」プログラム、および 8 月のモンゴルツアー参加者の手による運搬で合計 64 台の車いす、工房いす、バギー等をモンゴル、パプアニューギニア、ウガンダに届けることができた。

車いすの収集・管理・清掃・搬出

作業日数：6 日、

参加人数：のべ約 20 人

JICA「世界の笑顔のために」プログラム

<平成 22 年度第 2 期分>

発送日：2010 年 12 月

(7 月モンゴル到着)

収集場所：心身障害児総合医療療育センター



送り出す車いすの点検作業中

台 数：13台（モンゴルへ8台、パプアニューギニアへ5台）
配布先：ウランバートル市バガノール地区家族病院(7台)
ウランバートル市ジェンダーセンター（1台）
現地協力者：佐竹裕美さん(青年海外協力隊員・国立身体障害者
リハビリテーションセンター・理学療法士)
配布先：パプアニューギニア
現地協力者：福島健士さん(青年海外協力隊員・Nonga 総合病院・
理学療法士)

<平成23年度第1期分>

発送日：2011年6月（10月モンゴル到着）
収集場所：心身障害児総合医療療育センター
台 数：30台（モンゴルへ22台、ウガンダへ8台）
・配布先：ウランバートル市第10治療保育幼稚園(20台)
ウランバートル市乳幼児療養施設（2台）
現地協力者：藤原麻美子さん(青年海外協力隊員・第10治療保育幼
稚園・言語聴覚士)
・配布先：ウガンダ
現地協力者：林賢三さん(シニアボランティア・障がい児教育・ニンジン
理事)

モンゴル交流ツアー参加者の手で



車いすの座り方を説明する吉濱理事
（障がい児親の協会）

実施日：2011年8月12日
収集場所：心身障害児総合医療療育センター
台 数：21台、下肢装具20点
配布場所：モンゴル国ウランバートルおよび南ゴビ
配布先：障がい児親の協会（18台/車いす12台、バギー
4台、座位保持いす1台、いす1台）
シェアザジョイセンター（車いす1台）
チンゲルティ区CBRC（車いす1台）
国立リハビリテーションセンター（車いす1台）
現地協力団体：障がい児親の協会、ワールドジュルチン社
現地協力者：藤原麻利子さん(青年海外協力隊員：第10治療保育幼稚園・
言語療法士)、ソロンゴさん、ヒシゲさん
輸送協力：モンゴル航空、(株)エムジェイツアーズ

(2) タイ、ミャンマー山岳少数民族（ラフ族）自立支援事業

ア．ミャンマーにおける研修農場開設及び運営支援

ミャンマー在住ラフ族の自立支援プロジェクト「ビルマ・シャン州農援団」
の事務局としてチェントゥー市の研修農場(代表：ドナルド氏)支援に協力し

ている。今期、資金の移動はしなかった。

イ．北タイへの専門家旅費支援

ルデラでは、研修農場を開いて焼畑から常畑農業への転換と複合農業に取り組んでいるが、今年度から焼畑で荒廃した土地を森に戻すため、農民が山に木を植え、引き換えに豚を配るプロジェクトを始めている。そのコーディネート、プロジェクト管理に通う専門家の旅費の一部を支援した。

2．海外の障がい児者等との交流事業

(1) モンゴル、タイ等へ研修・交流ツアーの企画実施

ア．『第7回モンゴル交流ツアー～障がい児に車いすを届ける旅～』の実施



遊牧民のゲルを訪問

車いすの輸送・配布をし、障がい児に関わる人々との交流および南ゴビの大自然にふれるツアーを実施した。

実施期間：2011年8月12日(金)～19日(金)

訪問先：ウランバートル・障がい児親の協会他、

南ゴビ・シェアザジョイセンター、テレルジ

参加者：15名(うち現地参加3名)

結果：全行程参加メンバー12名には、医師、義肢装具士、理学療法士、特別支援学校教員等の参加があり、また現地では協力隊のOB1名、現役2名の参加により、障がい児関連機関への訪問が充実した。

イ．『北タイルデラ交流ツアー』の実施

北タイの RudeLA (ラフ農村開発) の設立 20 周年を祝う記念の集いにあわせ、ラフ族の山の村に滞在し、村の人びとと交流した。

実施期間：2011年2月5日(土)～11日(金)

参加者：14名(うち現地参加学生グループ7名)

内容：チェンマイからチェンライへ移動。RudeLA 代表ダイエー氏の山の村に滞在し、山の生活を体験する。研修農場でのお祝いに参加、子ども寮の視察、ミャンマーの国境の町タチレイを見学、ゴールドトライアングル周遊。

結果：山の村に滞在し、生活、農業の取り組みを知ること、夜は学習会を開き、ルデラの歴史を知ると共に新しい取り組みを学ぶことができた。ルデラのお祝いでは民族の踊りの輪に加わり、ダイエー氏の 20 年にわたる活動の広がりを感じることとなった。



山の村で人気の古着のバザー、売上げは寄付

ウ．タイへ高校生スタディツアー

順天高校が行うタイ修学旅行に協力し、北タイ滞在期間中にさまざまなハンディを抱える人々と出会い交流するスタディプログラムの企画・コーディネートを行った。

期 間：2011年7月22日(金)～7月30日(日)

受入人数：順天高校より、生徒24名、引率教員4名、計28名

内 容：<チェンライ>山岳少数民族ラフ族の村での生活体験、研修農場での体験ワーク・交流、子ども寮での交流
<パヤオ>私立高校との交流
<チェンマイ>HIV/AIDS 関連の活動、ストリートチルドレン関連施設の訪問・交流、象乗り

協 力 者：川口泰広氏(チェンマイ)

ダイエー・セイリ氏(チェンライ・ルデラ代表)

結 果：タイの政治的騒乱があり実施が危ぶまれたが、無事に実施できた。今回は人数が多かったが、現地協力者の努力により内容的には充実したプログラムとなった。

3．啓発事業

(1)公開セミナーの開催 実施せず。

4．文化交流事業

(1)モンゴル文化紹介コンサートの開催



七夕チャリティーコンサート「モンゴルの風」を開催。多彩な出場者に大勢の来場者においでいただき、大変好評であった。ロビーにモンゴルでの活動紹介パネルを展示し、ステージからも帰国した協力隊員がモンゴルの障がい児の状況を報告し、活動への理解を深めていただくことができた。会場では、東日本大震災復興支援のための募金を行った。

日 時：2011年7月2日(土) 19:00～21:00

会 場：ルーテル市ヶ谷センター

出 演：バトオチル(馬頭琴・ホーミー)、
バトエルデネ(馬頭琴)、
ハンダー(歌・モンゴル琴)、
ジャブハー(踊り)、ゲレル(ピアノ)
ゴスペル東京(友情出演)



報告者：高橋千恵(旧姓/多田羅) 来場者：175人

(2)ハワリンバヤル(モンゴルの春祭り)実行委員会への参加

在日モンゴル留学生会が中心となり、例年ゴールデンウィークに催されているモンゴル文化交流イベント「ハワリンバヤル 2010」の実行委員会に参加し準備してきたが、東日本大震災後、モンゴルの留学生の多くが帰国し、中止となった。

実行委員：吉濱信恒

(3)モンゴル文化紹介(協力)

お寺の研修プログラム的一部分として、モンゴルの社会や文化およびニンジン
のモンゴルでの活動を紹介し、ホーミーのコンサートを行った。

実施日：2010年11月3日

主催・会場：大圓寺(さいたま市見沼区)

演奏者：B.ボルドーエルデネ

5. 情報提供事業

(1)ニュースレター等の発行

- ・ニュースレター発行 1回(10月)
- ・ニンジン・アップデート(Eメール、Faxによる情報発信、月1~2回)

(2)ホームページ、ブログの維持、更新

ホームページおよびブログでの情報発信のほか、NPO/NGOの団体情報公開サイトへの登録情報を更新し、情報開示やイベント情報の発信を行った。

<主な団体情報開示ウェブページ>

- ・日本財団公益コミュニティーサイトCANPAN
- ・日本NPOセンターNPOひろば
- ・Yahoo ボランティア

<登録募金サイト>

- ・イーココロ
- ・クリックエイド(携帯から)

6. 東日本大震災復興支援事業

震災後、モンゴル、タイから安否確認とお見舞いのメールが次々届き、できることをと取り組みが始まった。

東松島に支援に入っていた青年海外協力隊員からJICAを通じ車いすの要請を受け避難所に車いすを提供したり、モンゴルからラクダのソックスや革製品が支援として送られてくるなど、これまでのネットワークが生きた。



震災への支援としてモンゴルから届いた革製品

実施結果

- (1)4月1日 大人用車いす6台を発送 輸送協力：JICA
提供先：東松島の避難所（矢本第一中学校）2台
JDF 被災障害者総合支援本部・みやぎ支援センター 4台
- (2)5月31日 大人用車いす7台を石巻へ発送
輸送協力：長野潤一氏
提供先：めだかの楽校(小規模多機能通所介護)(石巻市)
- (3)6月28日 ラクダのソックス100足を石巻へ送り、市内の避難所に提供
(2)と(3)の現地協力：明るい社会づくり運動石巻地区推進協議会
- (4)モンゴルからの革製品をもとに復興支援活動募金を行った。募金額 304,727円(2011年9月30日現在)
この募金をもとに次年度、被災地の障がい児支援活動をする



建築中の新施設に車いすが届いたところ（めだかの楽校/石巻市）

7. 組織運営

(1)会員の拡大

各事業を通じて会員拡大に努めた。

会員数	(2011年9月30日)	(2010年9月30日)
個人正会員	32名(34口)	29名
団体正会員	2団体	2団体(新規1団体)
個人賛助会員	37名(54口)	29名(29口)
団体賛助会員	0団体	0団体

(2)会議開催

ア. 理事会の開催

開催回数：8回

イ. 総会の開催

期日：2010年12月4日(土)

会場：城整形外科クリニック(武蔵野市吉祥寺本町1?21?2)

総会后、バトオチル氏による馬頭琴コンサートを開催

(3)募金キャンペーン

ア. 『世界一小ちらい?! ミニ絵画展』(12/13~23)

イ. 順天高校スポンサーウォーク(4/8、5/7)

ウ. 「ひよこっち」第13回自主ライブへのブース出展(3/27~28)

2010年度 収支計

(特定非営利活動に係る事業会計)

2010(H22)年10月1日～2011(H23)年9月30日

収入の部

(単位:円)

科 目	2010年度 予算額	2010年度 決算額	差額 -	備 考
1 会費	515,000	562,000	47,000	
個人正会員	350,000	340,000	10,000	10000×32人(34口)
団体正会員	60,000	60,000	0	30000×2団体
個人賛助会員	105,000	162,000	57,000	3000×54口
団体賛助会員	0	0	0	
2 寄付金収入	500,000	511,188	11,188	
一般寄付	300,000	160,500		約20名
使途指定寄付	200,000	350,688		東日本大震災、車いす寄贈
3 事業収入	5,952,500	6,193,500	241,000	
協力事業	0	0	0	
交流事業	5,470,000	5,759,000	289,000	
啓発事業	7,500	0	7,500	
文化交流事業	475,000	434,500	40,500	
4 補助金等	0	0	0	
5 その他	50	137	87	受取利息
当期収入合計 (A)	6,967,550	7,266,825	299,275	
前期繰越収支差額 (B)	567,632	567,632	0	
収入合計 C (A+B)	7,535,182	7,834,457	299,275	

支出の部

(単位:円)

科 目	2010年度 予算額	2010年度 決算額	差額 -	備 考
1 事業費	6,250,000	6,151,940	98,060	
協力事業費	790,000	316,024	473,976	
交流事業費	5,120,000	5,502,161	382,161	
啓発事業費	10,000	0	10,000	
文化交流事業費	295,000	291,577	3,423	
情報提供事業費	35,000	40,745	5,745	
東日本大震災復興支援	0	1,433	1,433	
2 管理費	635,000	522,465	112,535	
給与手当	60,000	60,000	0	
会議費	5,000	0	5,000	
什器備品費	15,000	0	15,000	
委託費	240,000	240,000	0	賃借料、光熱水費等
消耗品費	30,000	12,814	17,186	
旅費交通費	110,000	99,270	10,730	
通信運搬費	120,000	87,751	32,249	
印刷製本費	40,000	6,819	33,181	コピー代
諸会費	10,000	10,000	0	
雑費	5,000	5,811	811	振込手数料他
3 租税公課	3,000	0	3,000	
4 予備費	50,000	0	50,000	
当期支出合計 (D)	6,938,000	6,674,405	263,595	
当期収支差額 (A) - (D)	29,550	592,420	562,870	
次期繰越収支差額 (C)-(D)	597,182	1,160,052	562,870	

貸借対照表

(特定非営利活動に係る事業会計)
2011(平成23)年9月30日現在

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 流動資産		1 流動負債	
手許現金	96,566	前受け金	29,000
普通預金	1,013,486	2 固定負債	
郵便振替口座	0	なし	0
前払い金	79,000		
流動資産 合計	1,189,052	負債の部 合計	29,000
		正味財産の部	
2 固定資産		正味財産	
なし	0	前期繰越正味財産	567,632
		当期正味財産増加額	592,420
		正味財産 合計	1,160,052
資産の部合計	1,189,052	負債・正味財産の部合計	1,189,052

2010 年度 監査報告

